

The University of Aizu
Center for Cultural Research and Studies
Annual Review No.30, 2023

会津大学文化研究センター
研 究 年 報

第 30 号
2023



会津大学

2024年3月発行

目次

	Page
巻頭言	
・ 着実な一歩を —2023 年度活動報告—	荻間澤 勇人 1
論文	
・ スポーツ虐待とアスリートの依存四類型の関係性の検討 ——指導者の適性と企業の人事戦略に向けて——	小川千里 , 煙山千尋 5
研究・教育・活動報告	
・ 網谷 祐一	15
・ 池本 淳一	16
・ 蛭名 正司	17
・ 小川 千里	18
・ 沖 和砂	19
・ 荻間澤 勇人	20
・ 小暮 克夫	21
・ 中澤 謙	22

【巻頭言】

着実な一步を —2023 年度活動報告—

文化研究センター長 荻間澤勇人

2023 年 5 月 8 日以降、新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症となり、国レベルでの対応から個人レベルでの対応に変わりました。大学でもオンラインやソーシャルディスタンスを確保した教室活用が解除されて、コロナ対応を個人の責任で行いながら、対面での学習活動を行いました。新型コロナに感染した学生もいましたが、大学内で大きな混乱が生じることなく良かったです。

さて、7 月に本学にとって大きな出来事がありました。理事長への辞任勧告があり、宮崎理事長が勧告を受け入れて辞任されました。学生や一般教員にとっては突然のことであり一部に動揺がみられました。また、新聞やニュースでも取り上げられて県民から注目されました。辞任勧告に至った明確な経緯は明らかになっていませんが、過去に執筆した学術論文において、その以前の自身の論文から適切な引用をせずに図表を用いた「自己盗用」と、大学院改革に関わる文部科学省への申請プロセスにおいて「コンプライアンス違反」があったとのこと。私は宮崎先生と 8 年間ご一緒しました。会津大学の発展を目指す姿勢が感じられる強いリーダーシップで理事長職を務められたという印象があります。ですから、辞任をととても残念に思っています。宮崎先生が学生課で最後に挨拶された際に、文化研究センターの先生方が駆けつけてくださいました。また、中澤先生が花束を用意して、沖先生が贈呈されました。宮崎先生が感謝してくれる人がいたとだけいただければ、我々は嬉しいです。2023 年度、本学は開学 30 周年を迎え、様々な記念事業を予定していましたが、理事長辞任によって事業が見送りになったり、規模が縮小したりしました。その点はとても残念だったと思います。

つぎに文化研究センターに目を向けます。4 月から教授の審査委員会を立ち上げて、科学哲学領域の教授職を学内公募しました。網谷祐一先生が応募されて審査が行われた結果、2024 年 4 月から教授とされます。その一方で、清野先生の後任の教官公募を行っていないため、本センター教官が一名不足でした。2023 年度は法学を不開講とし、日本国憲法を大阪公立大学の白鳥能伸先生に集中講義でお願いしました。不足分の教官採用について、未だどの領域で公募を出すかが決まっていません。この課題は 2024 年度へ繰り越したいと思います。

2014 年からの 8 年間で 8 名の教官が本センターを去られて、構成メンバーが大きく変わりました。2023 年度は大きな変化が一段落して、比較的落ち着いた 1 年だったと思います。2024 年は会津大学と本センターの 5 年先あるいは 10 年先を見通して計画を立てるべきだと考えます。4 月から文化研究センター長を中澤教授が務められます。皆で一緒に着実に一步を踏み出しましょう！